

枕崎市 地域学校協働活動だより

令和8年3月号

パソコンで検索 **枕崎市地域学校だより** 検索

スマホで読み取り



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～1年生が高齢者と「昔遊び」でふれあい活動～ 別府小学校

別府小学校では、1月23日に1年生10名が校区老人クラブ・高齢者学級の方々や「昔遊び」のふれあい活動を行いました。今回は、子供たちの祖父母を含め、16名の高齢者の方々に参加いただきました。

子供たちは、グループに分かれ「けん玉」「コマ回し」「竹とんぼ」「お手玉」「あやとり」などの昔の遊びを体験し、おじいちゃん、おばあちゃんとの交流を楽しんでいました。今年



「けん玉」は子供たちのほうが上手です

は、けん玉の上手な児童が多く、高齢者の方々の先生になっていました。

別府地区公民館の青少年講座も兼ねており、高齢者の方々も童心に帰って子供たちと一緒に全部の遊びを体験し、子供たちとの触れ合いに笑顔がこぼれていました。

その後は、全員で紙飛行機を作って、誰が一番遠くに飛ばせるかの紙飛行機大会で盛り上がりました。今年は男の子が作った飛行機が一番遠くに飛んだようです。

最後に、子供たちがお礼の気持ちを込めてダンスを披露し、校歌を全員で合唱して終了しました。



子供たちがお礼のダンスを披露

～「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」を開催～ 桜山地区公民館

桜山地区公民館の青少年講座「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」が1月17日に行われ、桜山小学校の児童・保護者など全体で31名の参加があり、みんなで元気に歩き通しました。「勉学の道」とは、東京にある玉川学園の創立者である故小原國芳先生が12歳のとき、実家（現在の南さつま市坊津町久志）から桜山尋常高等小学校（現在の桜山小学校）まで通学した片道12キロの険しい山道です。小原少年は朝の暗いうちに提灯に明かりをともし



途中の険しい山道も越えて行く



風車が見えるとようやく下り坂に

歩こう会参加者は、久志から出発し、小原國芳先生顕彰の碑が建っている桜山小学校まで3時間以上かけて歩きました。毎日歩いて登校した大先輩の偉大さを改めて感じた1日となりました。

～学校給食週間に生産者を招いて食育の交流授業～ 市内小学校

枕崎市内の小学校では、1月24日からの「全国学校給食週間」を中心に、給食センター栄養教諭の尾上先生と地元の様々な食材を生産する方々をお招きして「地元の食材を知り、感謝の気持ちを育てよう」をテーマに交流授業が行われました。

桜山小学校

桜山小学校では、1月19日に枕崎牛を生産されている桜ファームの山下貴史さんをお迎えして、3年生が交流授業を行いました。山下さんからは、「1頭の牛を出荷するまで2年4カ月かかる。毎日休まずに牛の世話をし、成長に合わせて餌を変えたり、牛肉がおいしくなるようにいろいろな工夫をしている。」との話がありました。

尾上先生からは、給食ができるまでの一日の様子や枕崎牛を使用した給食の献立などを教えていただきました。



枕崎牛の餌について説明する山下さん



また、1月23日には鰹節生産者（枕崎水産加工組合）の高倉洋介さんをお迎えして、4年生との交流授業が行われました。高倉さんからは「鰹節を作るには多くの手間と時間がかかっている。鰹の切り身から一本一本骨を抜き、燻して、カビ付けと天日乾燥を6カ月以上繰り返して本枯節が出来上がる。」との話がありました。尾上先生からは、学校給食の歴史の説明があり、自分の食習慣を振り返ることが大切であることを教えていただきました。



カツオについて説明する高倉さん

枕崎市では地元の食材を知ってほしいとの思いを込めて、毎月カツオについて説明する高倉さん 24日の「節（ふし）の日」に「ふしの日給食」を実施しており、枕崎水産加工組合から毎月7キロの削り節（本枯節）が無償提供され、本枯節を使った様々な料理を作っています。子供たちは、「農家や鰹節生産者の方の工夫や苦勞があって、自分たちが給食をおいしくいただいている。」と考えるととても良い機会になりました。

別府小学校



感謝の手紙を贈る児童代表

別府小学校では、1月21日に野菜生産農家の山崎己代治さんと黒岩豊作さんをお迎えして、全校児童による給食感謝会が行われました。はじめに各学年の代表が感謝の手紙を発表しました。どの手紙も給食に携わってくださる方々への感謝の気持ちが伝わってくる内容で、出席の方々も感激の面持ちでした。

そのあと、尾上先生が給食センターで給食を作っている様子を写真で紹介し、1,400人分の給食を20人で作っていることや、衛生面に気を付けて食材を扱っていることなどを話していただきました。

山崎さんと黒岩さんからは、野菜作りの楽しさや苦勞を話していただきました。子供たちも給食についてたくさん学ぶことができ、素敵な給食感謝会になりました。

立神小学校

立神小学校では、1月26日に野菜生産農家の原田俊郎さんをお迎えして、2年生との交流授業が行われました。まずは「箱の中身は何？ゲーム」を行い、箱の中の野菜を感触だけで当てるゲームで盛り上がりしました。

ゲームのあとは、原田さんが持参いただいた大根、人参、白菜などの野菜を触ったり、匂いをかいだりしました。

尾上先生からは、「体の調子を整える」「病気から守ってくれる」という野菜の働きの話をしていただきました。

また、原田さんが生産している野菜が給食で使われていると聞き、子供たちの野菜への興味がますます高まりました。



「箱の中身は何？ゲーム」を始めるところ